

令和7年度 第2回徳島北高等学校 学校運営協議会議事録

1 日 時 令和8年3月12日（木） 午前10時から午前11時30分まで

2 場 所 徳島北高等学校 大会議室

3 次 第

(1) 開会

(2) 代表生徒による発表

○ とくしま生徒まんなか探究活動・活動発表

「インバウンドで徳島を元気にするプロジェクト」

発表者：国際英語科1年生8名

※ 発表について、他の高等学校との連携も考えてはどうかといったご意見や、多くの委員から賞賛の言葉を頂いた。

(3) 協 議

ア 令和7年度教育活動の報告について（向井校長）

イ 令和7年度学校評価総括表について（山尾企画課主任）

① KPI（数値目標）について

（田原会長）KPIとして80%などの数値目標が設定されているが、実績が大きく乖離している項目もある。数値達成が目的化しないよう、目標値や取組内容の見直しも必要ではないか。

（向井校長）計画作成時に現状分析を踏まえ、現状と目標値を意識しながら設定するよう各担当に指示していく。

② 教員の負担と働き方について

（永濱委員）多くの取組が進められているが、教員の負担増や残業増加が懸念される。教員への配慮やケアも重要である。

（向井校長）管理職として教職員へのねぎらいや声掛けを行い、働きがいを感じられる環境づくりに努める。

③ ICT活用による業務効率化について

（吉田委員）働き方改善のための具体的取組について。

（向井校長）ペーパーレス会議の実施、共有フォルダによる教材共有、デジタル採点システムの導入、保護者連絡・欠席連絡をクラウドサービス（Classi）で実施→業務の効率化が進んでいる。

④ 「人権委員会だより」の閲覧率について

（堤委員）閲覧率が約28%と低い点が課題。改善策はあるか。

（向井校長）配信するだけでなく、ホームルーム等でタブレットを開き閲覧する時間を設定するなど、閲覧機会を確保していきたい。

⑤ 海外語学研修の費用について

（堤委員）国際英語科の海外研修の費用負担はどの程度か。経済的負担への対応は。

(向井校長) 約45万円程度の費用が必要。国の補助金や同窓会支援により負担軽減を図っている。今後は研修先の変更(東南アジアなど)や支援制度の拡充も検討。

⑥ 登校指導について

(堤委員) 登校指導は教員の負担になっていないか。

(向井校長) 生徒課を中心に月1回程度実施しており、全教員が毎日対応するものではない。

⑦ 学校の取組の継続性について

(堤委員) 優れた取組が個人の努力に依存しないよう、マニュアル化などにより継続できる仕組みづくりが必要。

(向井校長) 教員が主体的に取り組めるよう、県外の先進校視察や研究会参加への支援などを行っている。

⑧ 学校評価の仕組みそのものについて

(葛上委員) 評価が「評価のための評価」にならないよう、スクールポリシーや生徒の成長とどのように結びつくかを整理する必要がある。

(向井校長) より実効性のある評価体系となるよう、今後検討を進める。普通科高校が増える中で差別化が必要。主体性を重視した教育を学校の特色としてさらに発展させていきたい。

※ 令和7年度の学校評価総括表について承認いただき、ホームページ等で公表することについても了承していただいた。

ウ 「地域学校共同活動推進員」について

※ 廣瀬教頭が「地域学校共同活動推進員」について趣旨説明をし、適任と思われる方の推薦を依頼した。

(4) 閉 会